別紙（参考様式）

令和5年度　体育に関する指導改善計画

廿日市市　立　宮内　小学校

令和4年度の重点課題

○　新体力テストの総合評価のAB率は，30.6%，ED率は，43.5%である。（（AB－ED）率－12.9%）
全学年男女とも「立ち幅跳び」が県平均値全国より高い。
○男子は「立ち幅跳び」以外の種目が，県の平均値または県平均値，かつ全国平均値より低い。
○女子は「長座体前屈」，「50m走」，「反復横跳び」，「立ち幅跳び」以外の種目が県平均値，かつ全国平均値より低い。
○運動習慣に関するアンケートによると1日の運動時間が，30分未満と回答する児童の割合が，男子で24%，女子で32%と，県平均よりも高いので，運動をしない児童の割合を減らしていく必要がある。

上記の課題を受けて具体的に取り組んだ事項

①授業のはじめに，筋力・全身持久力の向上につながる運動を取り入れたサーキット運動などを行った。
②体育学習カードを利用し，学習時間，休憩時間の遊びや運動の促進を図った。
③全クラスで,外遊びの学級レクを週1回以上できるように呼びかけた。
④学校生活の中にも，体力つくりを意識した活動を仕組んだ。（「ぞうきんしぼり（握力）」「机運び（腕力，背筋）」「立腰（体幹）」など。）

令和5年度新体力テストの結果　県平均値（令和4年度）・全国平均値（令和3年度）との比較

男子	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20m シャトルラン	50m走	立ち幅とび	ボール投げ	体力合計点
第5学年	15.37	16.90	34.95	40.17	37.68	9.83	139.64	19.10	49.00

女子	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20m シャトルラン	50m走	立ち幅とび	ボール投げ	体力合計点
第5学年	15.64	18.23	37.43	40.03	34.21	9.60	135.51	13.16	53.42

□県平均値かつ全国平均値未満

令和5年度新体力テストの結果　県平均値（令和5年度）・全国平均値（令和4年度）との比較

男子	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20m シャトルラン	50m走	立ち幅とび	ボール投げ	体力合計点
第5学年	15.37	16.90	34.95	40.17	37.68	9.83	139.64	19.10	49.00

女子	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20m シャトルラン	50m走	立ち幅とび	ボール投げ	体力合計点
第5学年	15.64	18.23	37.43	40.03	34.21	9.60	135.51	13.16	53.42

□県平均値かつ全国平均値未満

運動（体を動かす遊びを含む）やスポーツをすることは好きですか

男子	好き	やや好き	やや嫌い	嫌い
第5学年	68.29	24.39	4.88	2.44

女子	好き	やや好き	やや嫌い	嫌い
第5学年	55.00	27.50	12.50	5.00

学校独自の意識調査（運動やスポーツを1日どれくらいします

男　子	３０分未満	30分～１時間	１時間～２時間	２時間以上
第５学年	12.0	12.0	37.0	39.0

女　子	３０分未満	30分～１時間	１時間～２時間	２時間以上
第５学年	45.0	27.0	15.0	13.0

重点課題

情意面での課題

○運動習慣に関するアンケートについて（第5学年　男子・女子）
・1日の運動実施時間が，30分未満と回答する男子児童の割合が12%，女子45%である。昨年度の5学年児童の男子24%，女子32%と比べ女子の運動量が少ない。
・以上のことから，本校児童は，運動やスポーツに意欲的でなく，運動能力の向上に粘り強く取り組むことを苦手としている児童が多いと言える。・

体力面での課題

○　5学年男子
・「握力」，「上体起こし」などの全8種目中，「長座体前屈」を除く7種目が，全国平均値，県平均値を下回っている。
○　5学年女子
・全8種目中，「反復横跳び」，「50m走」以外の6種目が，全国平均値，県平均値より下回っている。
・男女共に，柔軟性以外の体力・運動能力の面で課題があるが，特にシャトルランと立ち幅跳びについて，県平均を大きく下回っており，持久力と跳躍力に課題がある。特に跳躍力，持久力の種目が低いので，改善が必要である。

重点課題に対応した改善する取組内容及び方法

体育の授業で行う取組内容

＜持久力・跳躍力を身に付ける＞
・年間を通して準備運動（10分～15分）の中に，ACP（アクティブチャイルドプログラム）を取り入れる。
・タイヤとび，のぼり棒，うんてい運動などを取り入れたサーキット運動。
・しっぽとり，鬼ごっこなどの遊びを取り入れた走運動。
・ケンケン遊び，スキップ運動，立ち三段・立ち五段運動，なわとびを取れいれた跳運動。
・ミニボール，ドッジボールを使ってのキャッチボールをしながらの投運動。

体育の授業以外で行う取組内容

＜楽しさや粘り強さを身に付ける＞
・大休憩や昼休憩の時間に体育委員会がの児童が，外遊びの紹介やなわとび運動等のコツを教える機会を設ける。
・昼休憩で，「鬼遊び」等の外遊びを学年・学級での実施を呼びかけ，児童が運動や体を動かすことを楽しめる機会や時間を増やす。

令和6年度の重点目標値

○新体力テストの総合評価のED率（総合評価が今年度EまたはDの児童41．6%）を35%以下にする。
○「跳躍力」，「持久力」を5学年の男女の結果を，県平均値及び全国平均値以上にする。
○コロナ禍後で十分な体育の授業や休憩時間の外遊び等での児童の運動活動ができていないので，今後も新体力テスト等で全学年の児童の運動能力をしっかり把握し，走・投・跳の運動等の指導計画に役立てたい。